第14号様式(第9条関係)
(その1)

収　支　報　告　書

平成 29 年分
(平成　年　月　日開催分)

1 政治団体の名称 (ふりがな) ぜいりしによるわかまつかねしげこうえんかい
税理士による若松かねしげ後援会

2 主たる事務所の所在地
福島県郡山市堤下町8番10号

3 代表者の氏名
宗像住孝

4 会計責任者の氏名
矢部豊

〔事務担当者の氏名〕
矢部豊

〔電話〕
024-946-0191

(収受印)
福島県選挙管理委員会 平成 30.5.24 収受 福選中第 号

資金管理団体の指定の有無
□ 有　☑ 無
公職の種類
資金管理団体の届出をした者の氏名

資金管理団体の指定の期間
平成　年　月　日から 平成　年　月　日まで

(選管使用欄)

団体番号	審査記帳	入力	備考
5307	☑	□	

政治団体の区分
□ 政党
□ 政党の支部
□ 政治資金団体
□ 政治資金規正法第18条の2第1項の規定による政治団体
☑ その他の政治団体
□ その他の政治団体の支部

活動区域の区分
□ 2以上の都道府県の区域等
☑ 同一の都道府県の区域内

国会議員関係政治団体の区分
□ 政治資金規正法第19条の7第1項第1号に係る国会議員関係政治団体
☑ 政治資金規正法第19条の7第1項第2号に係る国会議員関係政治団体
公職の候補者の氏名 若松謙維
公職の種類 参議院議員(現職)

国会議員関係政治団体に関する特例の適用期間
平成　年　月　日から 平成　年　月　日まで

(その2)

収　支　の　状　況

1　収支の総括表

	十億	百万	千	円
収入総額			2,330	000
（前年からの繰越額）				0
（本年の収入額）			2,330	000
支出総額			1,464	564
翌年への繰越額			2,184	436

2　収入項目別金額の内訳

(1)　個人の負担する党費又は会費	十億	百万	千	円
金額				0
員数				0

(2)　寄附	金額 十億	百万	千	円	備考
ア　寄附(イを除く。)の区分					
(ア)個人からの寄附				0	
（うち特定寄附）				0	
(イ)法人その他の団体からの寄附				0	
(ウ)政治団体からの寄附			200	000	
小計　(ア)+(イ)+(ウ)			200	000	
（寄附のうち寄附のあっせんによるもの）				0	
イ　政党匿名寄附				0	
合計　(ア＋イ)			200	000	

(その3)

(3) 機関紙誌の発行その他の事業による収入

事業の種類	金額 十億	百万	千	円	備考
結成大会			33	000	平成29年7月3日 1,000円×33名 福島県郡山市中町3番1号 郡山ビューホテル
この頁の小計			33	000	
合計			33	000	

(その7)

(7) 寄附の内訳

寄附者の区分 政治団体

寄附者の氏名（団体にあっては、その名称）	金額（十億 百万 千 円）	年月日	住所（団体にあっては、主たる事務所の所在地）	職業（団体にあっては、代表者の氏名）	備考
東北税理士政治連盟	500,000	29.7.25	仙台市若林区新寺1-7-41	長末啓輔	
日本税理士政治連盟	500,000	29.7.27	品川区大崎1-11-8	小島忠男	
福島県税理士政治連盟郡山支部	1,000,000	29.11.1	福島県郡山市堤下町8-10	堀江正喜	
この頁の小計	2,000,000				
その他の寄附	0				
合計	2,000,000				

(その13)

3 支出項目別金額の内訳

(1) 支出の総括表

項目	金額（十億 百万 千 円）	備考
1 経常経費		
(1) 人件費	0	
(2) 光熱水費	0	
(3) 備品・消耗品費	1,684	封筒代
(4) 事務所費	12,880	郵便物発送費
経常経費小計	14,564	
2 政治活動費		
(1) 組織活動費		
(2) 選挙関係費	0	
(3) 機関紙誌の発行その他の事業費	0	
ア 機関紙誌の発行事業費	0	
イ 宣伝事業費	0	
ウ 政治資金パーティー開催事業費	0	
エ その他の事業費	0	
小計((3)ア～エ)	0	
(4) 調査研究費	0	
(5) 寄附・交付金	0	
(6) その他の経費	0	
政治活動費小計	0	
合計	14,564	

(その14)

(2) 経常経費(人件費を除く。)の内訳

項目別区分 備品・消耗品費 (消耗品費 、)

支出の目的	金額 十億 百万 千 円	年月日	支出を受けた者の氏名(団体にあっては、その名称)	支出を受けた者の住所(団体にあっては、主たる事務所の所在地)	備考
この頁の小計	0				
その他の支出	1684				
合計	1684				

(その14)

(2) 経常経費(人件費を除く。)の内訳

支出の目的	金額 十億 百万 千 円
郵便物発送費	12880
この頁の小計	12880
その他の支出	0
合　計	12880

項目別区分　事務所費　(　発送費　)

年月日	支出を受けた者の氏名(団体にあっては、その名称)	支出を受けた者の住所(団体にあっては、主たる事務所の所在地)	備考
28.6.8	日本郵便株式会社	東京都千代田区霞が関1-3-2	

(その17)

資　産　等　の　状　況

1 資産等の総括表

資産等の有無			
資産等の項目別区分	有	無	備　考
ア 土　　地	□	☑	
イ 建　　物	□	☑	
ウ 建物の所有を目的とする地上権又は土地の貸借権	□	☑	
エ 取得の価額が１００万円を超える動産	□	☑	
オ 預金（普通預金及び当座預金を除く。）若しくは貯金（普通貯金を除く。）又は郵便貯金（通常郵便貯金を除く。）	□	☑	
カ 金　銭　信　託	□	☑	
キ 有　価　証　券	□	☑	
ク 出資による権利	□	☑	
ケ 貸付先ごとの残高が100万円を超える貸付金	□	☑	
コ 支払われた金額が１００万円を超える敷金	□	☑	
サ 取得の価額が100万円を超える施設の利用に関する権利	□	☑	
シ 借入先ごとの残高が１００万円を超える借入金	□	☑	

(その20)

宣　誓　書

添付書類（別添のとおり）

1　領収書等の写し

2　監査意見書（政党及び政治資金団体に限る。）

3　政治資金監査報告書（国会議員関係政治団体に限る。）

この報告書は、政治資金規正法に従って作成したものであって、真実に相違ありません。

平成30年 5月24日

政治団体の名称　税理士による芝松かねしげ後援会

会計責任者の氏名　矢部　豊　印

代表者の氏名　　印

（解散の場合のみ記載）

（備考）　1　「会計責任者の氏名」欄は、記名押印又は署名とし、署名は必ず会計責任者本人が自署すること。

2　解散に伴う収支報告書の場合については、代表者であった者の記名押印又は署名が必要であり、署名は必ず代表者本人が 自署すること。

政治資金監査報告書

平成３０年 5 月 23 日

税理士による若松かねしげ後援会
代表　宗像　住孝　殿

登録政治資金監査人
税理士法人　さくら会計　加藤英夫
登　録　番　号　第　1510　号
研修修了年月日　平成20年12月5日

１　監査の概要

（１）私は、政治資金規正法（以下「法」という。）第１９条の１３第１項の規定に基づき、税理士による若松かねしげ後援会の平成29年1月1日から平成29年12月31日までの法第１２条第１項に規定する報告書並びに当該報告書に係る会計帳簿、明細書、領収書等、領収書等を徴し難かった支出の明細書等及び振込明細書（以下「会計帳簿等の関係書類」という。）について、支出に関する政治資金監査を行った。

（２）この政治資金監査は、法第１９条の１３第２項に定めるところにより政治資金適正化委員会が定める「政治資金監査に関する具体的な指針」（以下「政治資金監査マニュアル」という。）に基づき行った。

（３）私の責任は、外部性を有する第三者として、国会議員関係政治団体の会計責任者の作成した会計帳簿等の関係書類について、政治資金監査マニュアルに基づき政治資金監査を行った結果を報告することにある。

（４）この政治資金監査は、税理士による若松かねしげ後援会の主たる事務所において行った。

２　監査の結果

私が実施した政治資金監査の結果は、以下のとおりである。

（１）法第１９条の１３第２項第１号に規定する事項について、会計帳簿、明細書、領収書等が保存されていた。尚、領収書等を徴し難かった支出の明細書等及び振込明細書は存在しなかった。

（２）法第１９条の１３第２項第２号に規定する事項について、会計帳簿には、当該国会議員関係政治団体に係るその年における支出の状況が記載され、かつ、当該国会議員関係政治団体の会計責任者が当該会計帳簿を備えていた。

（３）法第１９条の１３第２項第３号に規定する事項について、法第１２条第１項に規定する報告書は、会計帳簿、明細書、領収書等に基づいて支出の状況が表示されていた。

（４）法第１９条の１３第２項第４号に規定する事項について、領収書等を徴し難かった支出の明細書等及び振込明細書は存在しなかった。

３　業務制限

税理士による若松かねしげ後援会と私との間には、法第１９条の１３第５項の規定に違反する事実はない。

また、税理士による若松かねしげ後援会と政治資金監査の業務を補助した使用人その他の従業者との間においても、同様である。

以　上